

2019 年度評価員基礎研修開催結果報告

2019 年度評価員基礎研修を開催しました。

この研修の受講は、看護学教育評価に携わる評価員として登録いただく際の要件となっています。

会員校からの推薦に基づき研修を受講くださった皆さまには、研修終了後、評価員リストに登録いただきました。

評価員基礎研修は、分野別評価の意義と仕組み、評価基準などに関する評価員候補の皆さまの理解を促すとともに、自大学の看護学教育プログラムに対する自己点検・評価、改善・向上に活かしていただくことをねらいに、全国 5 カ所で開催しました。

会場	日時	参加者数
札幌医科大学（札幌市）	2019 年 9 月 28 日（土）	12 名
日本赤十字看護大学（東京都）	2019 年 9 月 14 日（土）	41 名
金城学院大学（名古屋市中）	2019 年 9 月 14 日（土）	19 名
甲南女子大学（神戸市）	2019 年 9 月 21 日（土）	35 名
リファレンスはかた近代ビル（福岡市）	2019 年 9 月 28 日（土）	13 名
	計	120 名

研修は 3 部構成とし、第 1 部で看護学教育分野別評価の目的・方法、プロセス、評価基準に関する説明を行った後、第 2 部でグループごとに評価基準 1（教育理念・教育目標に基づく教育課程の枠組み）に関する評価シミュレーションを行い、評価基準や評価員の役割に関する理解を深めていただきました。第 3 部では評価員としての登録方法を説明しました。

第 1 部では、機構からの説明後、分野別評価の目的や意義、評価基準の理解に関するもののほか、受審の時期や機関別認証評価との違いなどについて、多くの質問が寄せられました。第 2 部のグループワークでは、いずれの会場でも活発な意見交換がなされ、時間が不足するほどでした。話し合いの後、グループワークを通して理解したことや、評価基準、評価作業等に関する疑問を発表いただき、詳細で具体的なやり取りが行われました。

研修アンケートの結果、ほとんどの参加者から「分野別評価の必要性と意義が明確になった」「評価基準や評価員の役割理解に役立った」「実際の評価に役立てられる内容であった」と評価いただきました。自由記載では、研修全体を通して、「分野別評価の具体的なイメージ化が図れた」「評価概要、評価基準に対する質疑応答を通して理解が深まった」など、評価員としての役割理解に関するコメントがありました。また、第 2 部のグループワークに関して、「他大学の取り組みを知ることで自大学の特徴を再認識するとともに改善点が明確になった」「自大学の教育についてコメントをもらったのが有意義であり、このような機会が複数回あるとよいと思った」「評価基準の理解は自大学の教育改善のために必要であると分かった」「自大学のものばかり見ていると視野が狭くなっており、他大学の状況を知ることでこれまで気づけなかった多くのことが見えた」など、他大学の教員とのディスカッションの効果や自大学へのフィードバックに関する多くのコメントをいただきました。

機構設立後初となる 2019 年度の評価員基礎研修は、参加者の皆さまの看護学教育の改善・向上に対する熱意の感じられる研修となり、ねらいを達成することができました。評価員候補を推薦いただいた会員校、ご参加くださった先生方、ありがとうございました。